

ODF の再計算極点図をMTEXとLaTeXで比較

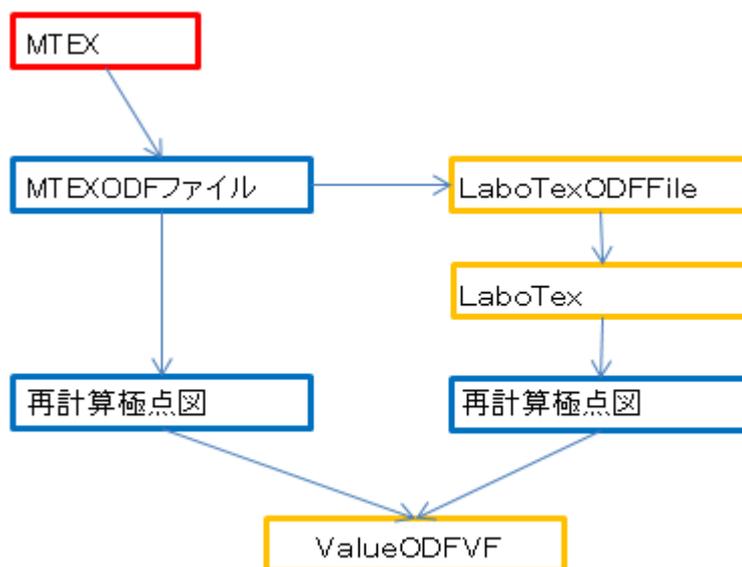
2018年08月18日

HelperTex Office

概要

ODF解析結果から再計算極点図が計算される。

この計算結果を、MTEXのODF結果からLaboTexODFFileを経由しLaboTexに読み込み、MTEXのODFファイルからLaboTexの計算結果と比較する。



MTEX入力データ

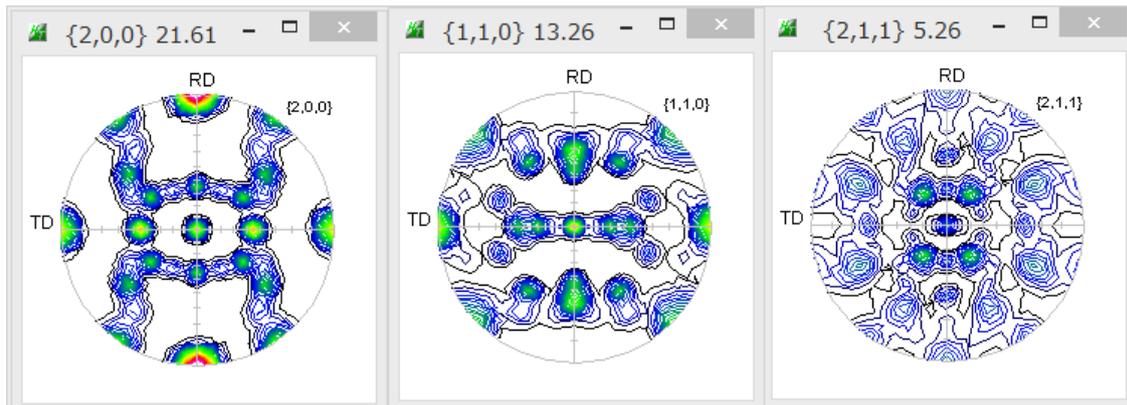
LaboTexで作成したデータ

MTEXODF計算 (Ver. 4.5.2)

Triclinicの計算をOrthorombicで読み込み

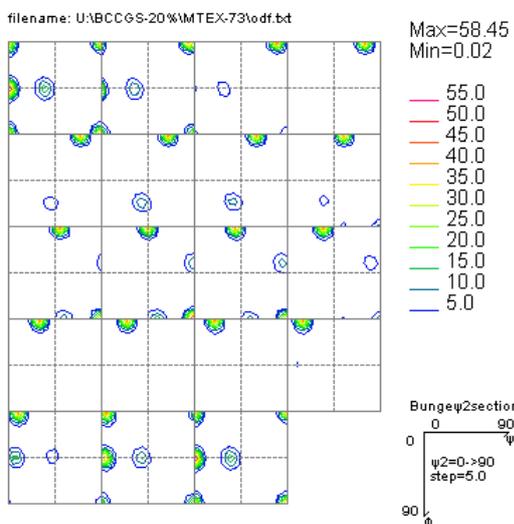
MTEX 処理

入力極点図

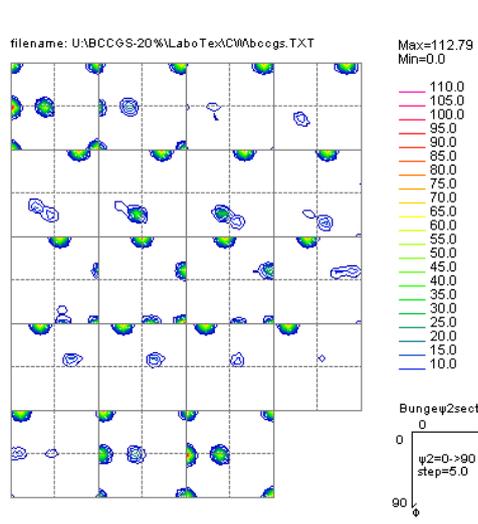


計算されたODF図を Export し、GPODFDisplay で表示

MTEX 解析結果(Max58.45)

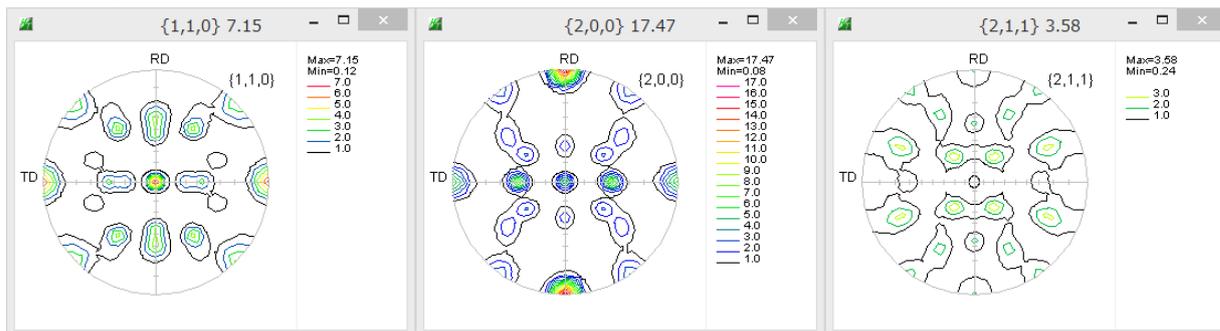


LaboTex 解析結果結果(Max112.79)

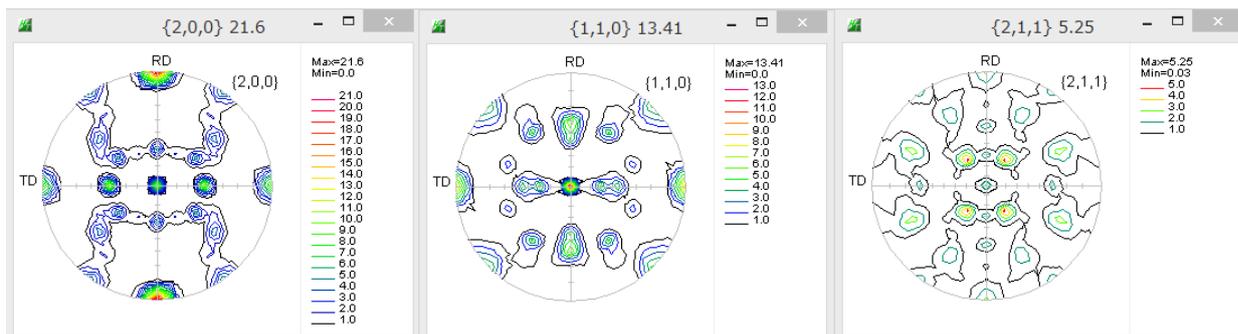


MTEX は Hermonic に近い値を示す。

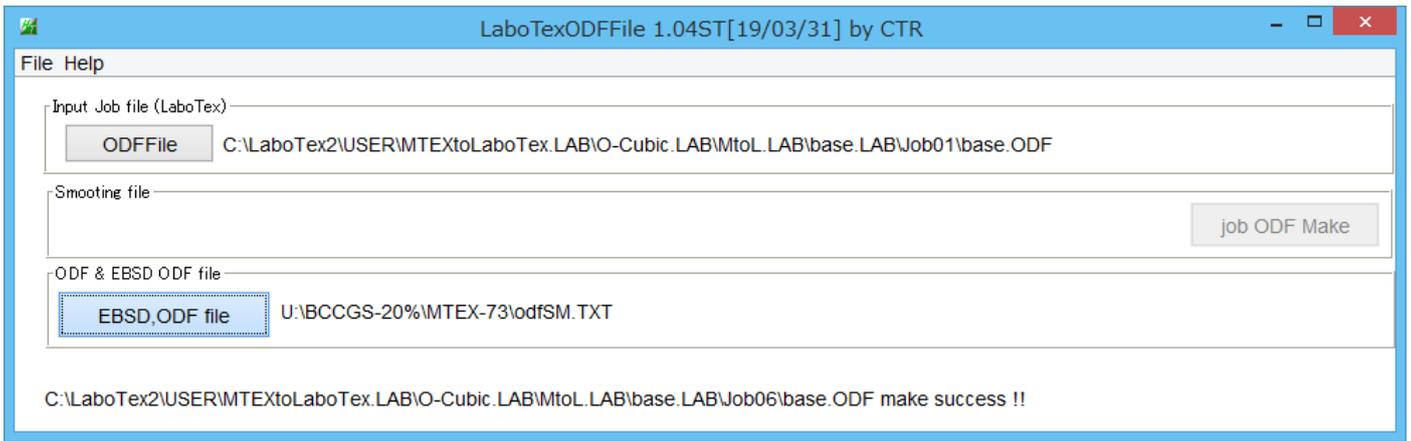
再計算極点図を Export し、GPPoleDisplay で表示



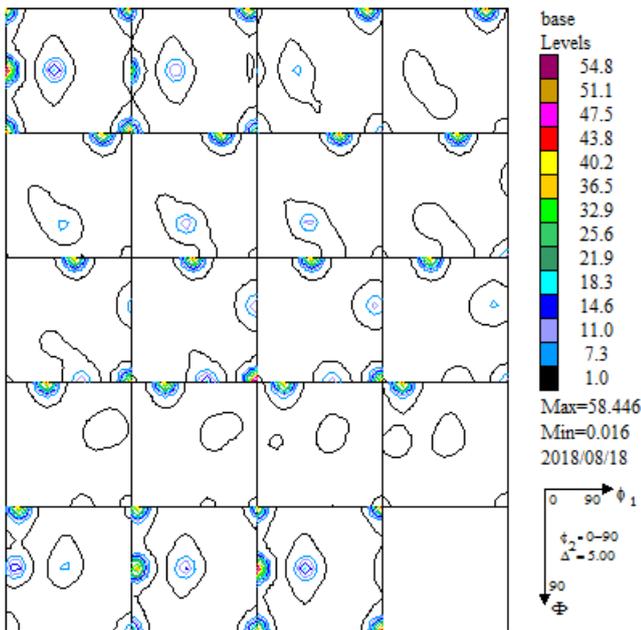
LaboTex で再計算



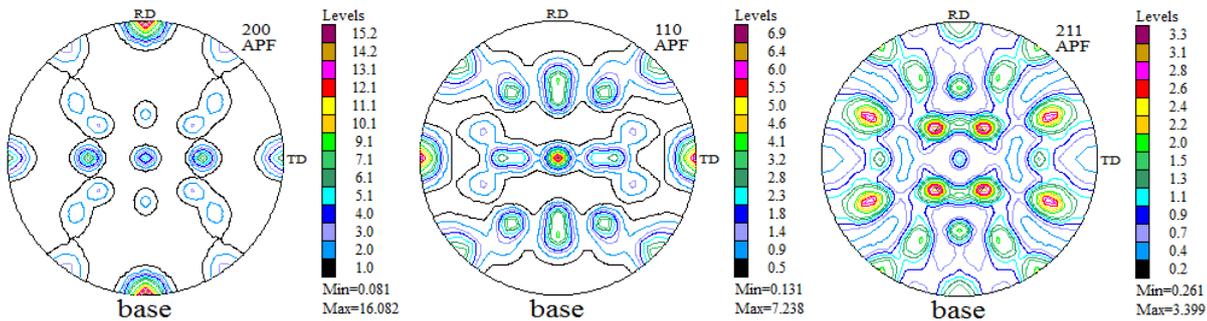
MTEX の ODF を LaboTex に読み込む



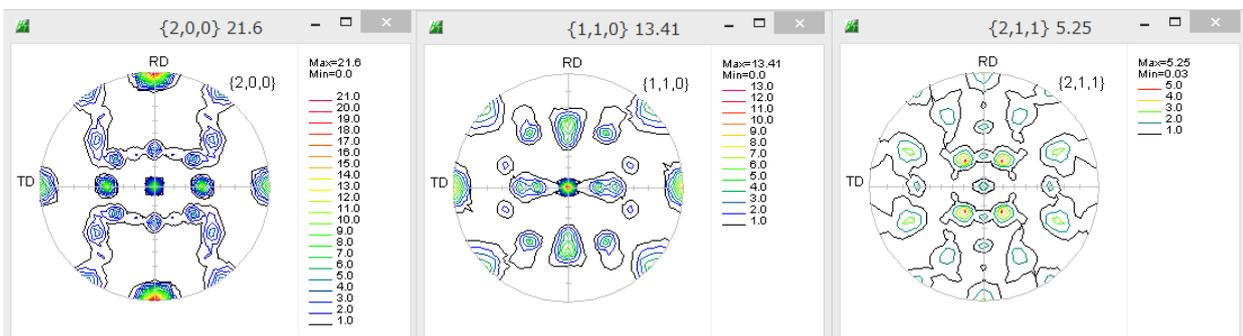
LaboTexに読み込んだMTEXで計算されたODF図



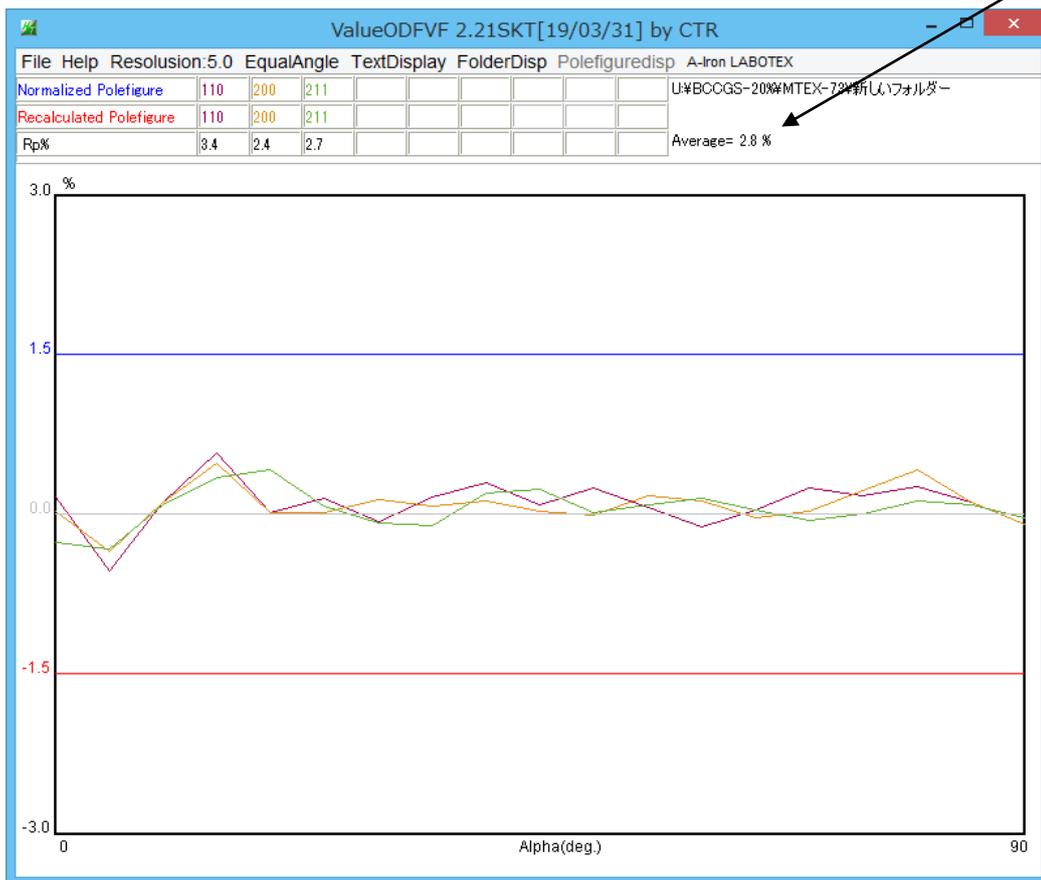
上記ODFから計算したLaboTexの再計算極点図



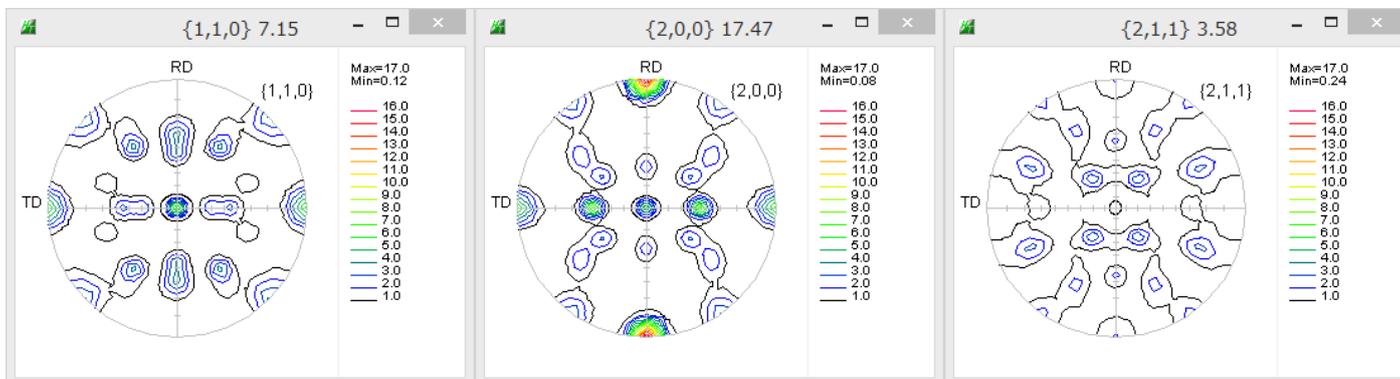
MTEXの再計算極点図とLaboTexで計算した再計算極点図の比較



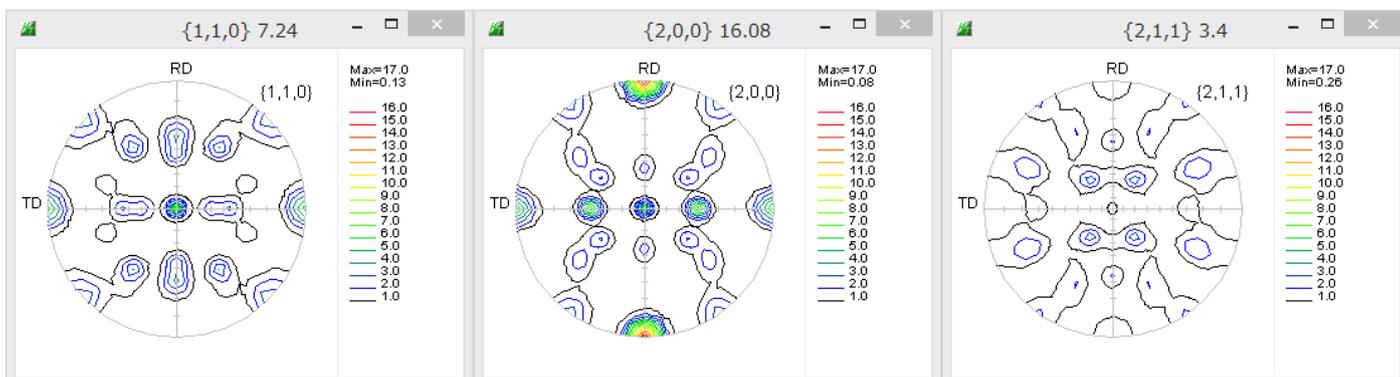
LaboTexの再計算極点図をExportし、MakePoleFileでASCを作成
ValueODFVFでASCとMTEX極点図pole_(hkl).TXTファイルからRp%を計算



MTEX (等高線最大密度を 17.0 として相対表示)



MTEX->LaboTex (等高線最大密度を 17.0 として相対表示)



ほぼ同一である。